

別紙

I. 事業評価総括表

(単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接 交付金事業者名	交付金事業に要し た経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	消防用車両救助資機材購入事業	田辺市	6,530,700	3,000,000	
2						
3						
4						
5						

(備考) 事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

## II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称				
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	消防用車両救助資機材購入事業				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		田辺市				
交付金事業実施場所		田辺市本宮町本宮				
交付金事業の概要		住民の生命、身体及び財産を災害から守るため、消防用ホース65mm20本、50mm10本、空気ジャッキ1式、レシプロソー1台、ガス検知器1台、ステップチョーク1個、油圧資機材付属品を購入し、配備することにより災害時の対応力を強化しました。				
交付金事業に係る都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		<p>政策: 第3章「安全」            施策: 2. 消防            単位施策: (2) 消防力</p> <p>② 常備消防体制については、広範な地域を1本部1消防署6分署(上富田分署を含む。)で管轄し、住民の安全確保に努めています。大規模化・多様化する災害に、迅速かつ的確に対応することが求められる中、平成28年4月に、免震構造を備えた消防庁舎に本部機能を移し組織体制を強化していますが、今後は、南海トラフ地震等の災害時における消防防災拠点としての消防庁舎の機能強化をはじめとした消防力の更なる充実が必要です。</p> <p>・消防力の充実を図るため、消防車両や消防用資機材の整備を推進するとともに、火災発生時に必要な水利を確保するため、消火栓や防火水槽の設置を進めます。</p> <p>目標: 消防設備点検において、正常な動作が確認できること</p>				
事業開始年度		令和2年度	事業終了年度		令和2年度	
事業期間の設定理由						
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標	単位	評価年度 令和2年度	
		消防設備点検において、正常な動作が確認できること	正常動作確認回数	成果実績	回	1
				目標値	回	1
				達成度	%	100.0
		評価年度の設定理由				
		毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施後早期に評価を実施				
		交付金事業の定性的な成果及び評価				

	成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無				
	無				
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	2年度	
	消防用ホース30本、空気ジャッキ1式 等		活動実績	式	1
			活動見込	式	1
			達成度	%	100
交付金事業の総事業費等	令和2年度	年度	年度	備考	
総事業費	6,530,700	0	0		
交付金充当額	3,000,000				
うち文部科学省分					
うち経済産業省分	3,000,000				
交付金事業の契約の概要					
契約の目的		契約の方法		契約の相手方	
物品購入		指名競争入札		有限会社ワカボー(田辺市)	
物品購入		指名競争入札		紀栄防災設備(田辺市)	
計					6,530,700
交付金事業の担当課室	消防本部消防総務課				
交付金事業の評価課室	企画部企画広報課				